

外部試験団体と連携した英語力調査事業

平成26年度概算要求額 239,964千円(新規)

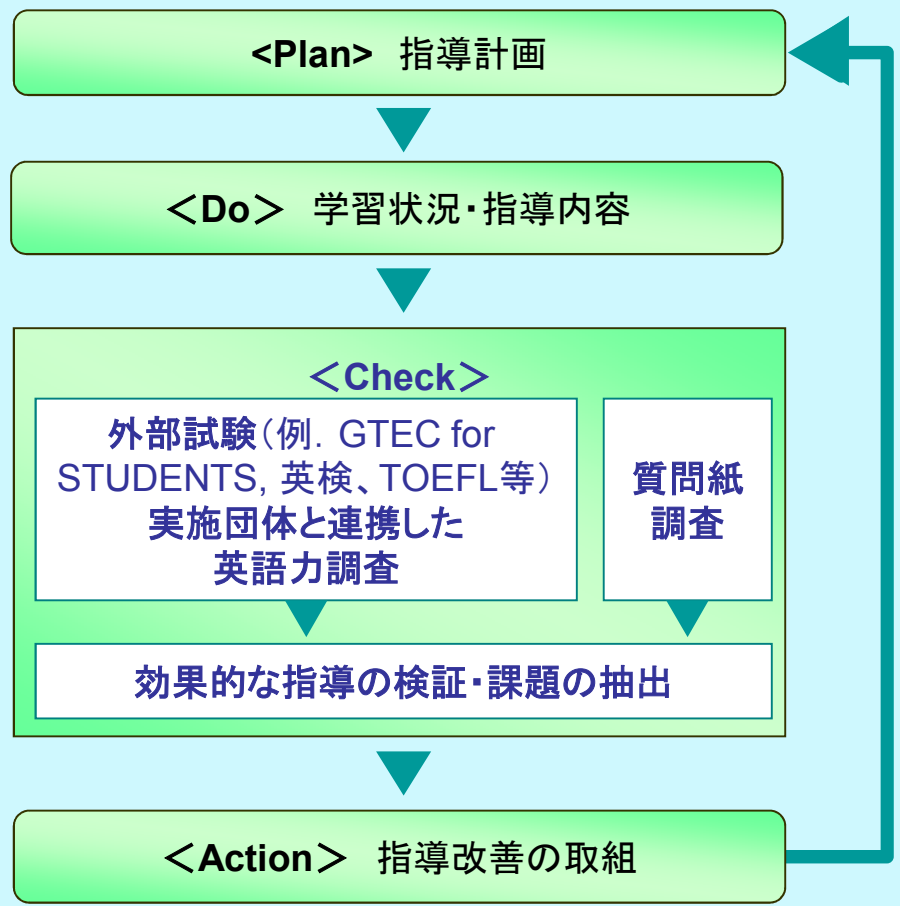
国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策(H23. 6. 30)

中学校卒業段階で求められる英語力: 初歩的な英語を聞いたり読んだりして話し手や書き手の意向などを理解したり、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話したり書いたりすることができる(英検3級程度以上)

高校卒業段階で求められる英語力: 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができる(英検準2級~2級程度以上)

平成27年度を目処に外部検定試験を活用した英語力調査を実施するための研究開発事業を実施。

- 目的: 生徒に求められる英語力や学習状況について把握・分析を行うとともに、それらの結果を指導の改善に生かすことにより、英語教育の戦略的な改善を図る
- 有識者、外部試験実施団体等からなる検討会議において、生徒の英語力を把握分析・検証するための調査を研究開発
- 4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)が対象
- 平成26年度は本取組の有効性を検証するための調査(フィージビリティ調査)を試行的に実施



平成 24 年度「外部検定試験の活用による英語力の検証」事業及び
平成 25 年度「外部検定試験を活用した英語によるコミュニケーション能力・
論理的思考力の検証」事業について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

「国際共通語としての英語力向上のための 5 つの提言と具体的施策～英語を学ぶ意欲と使う機会の充実を通じた確かなコミュニケーション能力の育成に向けて～」(平成 23 年 6 月 30 日 外国語能力の向上に関する検討会)において提言された内容を踏まえ、民間事業者により開発された試験等を活用し、生徒に求められる英語力や学習状況について把握・分析を行うとともに、それらの結果を指導の改善に活かすことにより、英語教育の戦略的な改善を図る。

(2) 調査事項及び手法

(平成 24 年度)

- ① 生徒(高等学校第 3 学年)に対する調査:英語力に関する調査及び質問紙調査
英語力に関する調査は、以下の 2 種類の外部検定試験から教育委員会が任意に選択したものが実施された。いずれの試験も、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、及び「書くこと」の 4 技能を対象としている。なお、スピーキング・テストについては、全受験者の約 17%が受験した。
 - (A) 「英語能力判定テスト」をベースとした試験(公益財団法人日本英語検定協会)
 - (B) 「GTEC for STUDENTS」をベースとした試験(株式会社ベネッセコーポレーション)
- ② 学校に対する調査:質問紙調査

(平成 25 年度)

- ① 生徒(高等学校第 3 学年)に対する調査:英語力に関する調査及び質問紙調査
「英語能力判定テスト」をベースとした試験(株式会社 旺文社)一種のみを実施。
平成 24 年度と同様の 4 技能を対象とした問題に加え、英語による論理的思考力も測定可能な問題に変更。なお、スピーキング・テストについては、各受験校から 40 人程度(9,000 人程度)の受験を予定。
※平成 25 年度からは試験的に中学校(25 校)においても実施

- ② 学校に対する調査:質問紙調査

(3) 各セクションの概要

(平成 24 年度)

「英語能力判定テスト」をベースとした試験

	問題数	試験時間	問題用紙	採点研修
リーディング	45 問	35 分	冊子 (紙)	なし
ライティング	5 問	上記の内数	冊子 (紙)	なし
リスニング	30 問	20 分	冊子/CD	なし
スピーキング	1 大問	5~7 分	絵カード	冊子・DVD

「GTEC for STUDENS」をベースとした試験

	問題数	試験時間	問題用紙	採点研修
リーディング	43 問	45 分	冊子 (紙)	なし
ライティング	1 問	20 分	冊子 (紙)	なし
リスニング	25 問	25 分	冊子/CD	なし
スピーキング	4 問	10 分程度	絵カード/CD	冊子・DVD

(平成 25 年度)

「英語能力判定テスト」をベースとした試験

	問題数	試験時間	問題用紙	採点研修
リーディング	30 問	45 分	冊子 (紙)	なし
ライティング	1 問	20 分	冊子 (紙)	なし
リスニング	22 問	20 分	冊子/CD	なし
スピーキング	1 大問	5~7 分	絵カード	冊子・DVD

主な英語の外部試験

試験名	実施主体	主な目的	主な受験者層	受験人数(H23実績)	実施回数	成績の表示方法	出題形式	受験料
実用英語技能検定	公益財団法人 日本英語検定協会	日常生活から広く社会生活で必要とされている英語力を7段階のレベル(級)に分けて評価。 ・350以上の海外大学において入学資格として認定。	・小学生 ・中学生 ・高校生 ・大学生 ・社会人	約230万人	3回/年	・1級から5級(7つの級)で合格による成績表示。	◆一次試験 ・リーディング/リスニング/ライティング ※2級～5級は全てマークシート形式 ※1級・準1級はライティングが追加され記述形式 ◆二次試験 ・スピーキング ※3級以上面接方式	・1級:7,500円 ・準1級:6,000円 ・2級:4,100円(3,900円) ・準2級:3,600円(3,400円) ・3級:2,500円(2,300円) ・4級:1,500円(1,300円) ・5級:1,400円(1,200円) ※括弧内は、準会場受験の場合
TOEFL® テスト (TOEFL iBT®)	テスト制作は、米国の Educational Testing Service (ETS) (日本では国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部がTOEFLテスト事務局として広報・周知活動を実施。)	英語を母国語としない人の英語能力を測定 ・留学 ・英国、オーストラリアビザ申請条件	・高校生 ・大学生 ・社会人	非公表 (全世界統一)	30-40回/年	・0-120点(4技能を各0-30点で評価) ・合否判定無 ・受け入れ機関(TOEFLテストスコア利用団体)がスコアを設定	インターネット形式 ・リーディング/リスニング/スピーキング(マイク利用)/ライティング(タイピング) (スピーキング、ライティングには、読んで聞いて話すもしくは読んで聞いて書く、の複合技能測定問題が含まれる。)	通常申込 US225 ^{ドル} (毎年7月に改定可能性有) (国により受験料は異なる) (金額はドル表示であるが、支払時に日本円表記のオプションあり)
TOEIC	テスト制作は、米国の Educational Testing Service (ETS) (日本では一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施)	・一般からビジネスまで幅広い英語によるコミュニケーション能力を測定	・高校生 ・大学生 ・社会人	高校・大学・団体・企業 3300団体で約227万人 ※全世界では120カ国、約630万人(H23年)	(H.25年度より)10回/年 【団体特別受験制度】 団体特別受験制度は、団体内で任意の日程で実施。	・リスニングスコア5~495点 ・リーディングスコア5~495点 ・トータルスコア10~990点	・リスニング/リーディング (マークシート方式)	5,565円(4,040円) ※括弧内は、団体特別受験制度を利用した場合
IELTS	ブリティッシュ・カウンシル、IDP(IELTS オーストラリア)、ケンブリッジ大学 ESOL 共同運営 (日本では公益財団法人日本英語検定協会)	・留学、海外移住など	・大学生 ・社会人	約1万5千人 ※全世界では120カ国、約170万人	公開試験:最大で28回/年(開催時期と回数は都市により異なる)	・1.0から9.0までの0.5刻みで成績表示(1.0 = Non-user~9.0 = Expert user)	・リーディング&リスニング (解答用紙への記述) ・スピーキング (1対1の面接方式) ・ライティング (解答用紙への記述)	24,675円
GTEC for STUDENTS	株式会社ベネッセコーポレーション	・英語運用力の測定 ・学年やクラスごとの傾向分析	・中学生 ・高校生	約49.5万人/約1,000校	統一検定日は7月・12月 実施は通年で可能。	・グレード1~7 ・スコア0~810 グレード1(~299)=挨拶程度のコミュニケーションができるレベル グレード7(710~810)=大学での専門教育を英語で学べるレベル	・リーディング(多肢選択) ・リスニング(多肢選択) ・ライティング(自由記述)	2,800円 ※学校申込のみ
GTEC	株式会社ベネッセコーポレーション	・英語による総合的なコミュニケーション能力を測定	・大学生 ・社会人	約2万人	通年	・スコア0~1000	・リーディング(多肢選択) ・リスニング(多肢選択) ・ライティング(記述) ・スピーキング(発話) ※4技能ともコンピュータで実施	12,600円
TEAP	公益財団法人 日本英語検定協会 ※上智大学と協同開発	・大学教育レベルにふさわしい英語力の測定	・高校3年生以上(予定)	約300人 (上智大学AO入試および推薦入試としての実績)	2014年度より年複数回実施を予定(リーディング&リスニング)。 ※スピーキングとライティングの開始年度は検討中。	スコアと世界的に利用されているCEFRによる成績表示(3段階:A2=準2級、B1=2級、B2=準1級) ※詳細は検討中	・リーディング&リスニング (マークシート方式) ・スピーキング(1対1の面接方式) ・ライティング(解答用紙への記述)	2014年度公開試験実施に向け検討中。